

第15回 四国高等学校フェンシング選手権大会 実施要項

- 主 催** 四国高等学校体育連盟・香川県教育委員会
愛媛県フェンシング協会・高知県フェンシング協会・徳島県フェンシング協会
- 後 援** (公財)香川県スポーツ協会・高松市教育委員会・(公財)高松市スポーツ協会
- 主 管** 香川県高等学校体育連盟・香川県フェンシング協会
- 1 期 日** 令和7年6月14日(土)・15日(日)
(1)開会式 6月14日(土) 12:00～
(2)競 技 6月14日(土) 12:15～ 学校対抗フルーレ
個人対抗フルーレ予選プール・トーナメント1回戦
6月15日(日) 9:00～ 個人対抗フルーレ・エペ・サーブル
競技終了後、閉会式
- 2 会 場** 高松市牟礼総合体育館
〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼152-10 Tel 087-845-7060
- 3 競技種目** 男女学校対抗フルーレ 男女個人対抗フルーレ・エペ・サーブル
- 4 競技規則** (1) (公社)日本フェンシング協会試合規則及び(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部申し合わせ事項による。
(2) 武器・装具については、試合ごとに点検し、不備が見つかった場合は直ちに罰則を適用する。
- 5 競技方法** (1) 学校対抗 トーナメント
ア 3名による総当たりとする(5勝先勝方式)。
イ 3位決定戦を行う。
(2) 個人対抗 予選プール及びトーナメント
ア 予選プールは5本勝負、トーナメントは15本勝負とする。
イ 3位決定戦は行わない。
- 6 参加資格** (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
(2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該競技実施要項により、四国大会参加の資格を得た者に限る。
(3) (公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部の令和7年度加盟手続きを完了したチーム及び個人であること。
(4) 年齢は、平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

- (5) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。（統廃合完了前の２年間に限る）
- (7) 転校後６ヵ月未満の者の出場は認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。但し、一家転住などやむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (8) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例
 - ア 前記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、各県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 前記(4)の但し書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技３回までとする。
- (10) 外国人留学生の出場規定
 - ア 永住権を有する者は大会実施要項の規定人員までエントリーできる。
 - イ 一定期間査証（ビザ）を取得し、卒業を目的に日本の高等学校に在籍する者は、大会実施要項の規定人員のうち１名エントリーできる。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- １ 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、各県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- ２ 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア 四国高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあつては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、四国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失しておらず、運営が適正であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 四国高等学校選手権大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ

事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- 7 引率・監督**
- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、当該高体連会長に事前に届けること。
 - (2) 監督は学校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
 - (3) 学校対抗において同一校から男女が参加するときは、それぞれの選手を指導する監督を必要とする。
 - (4) 但し、上記(1)・(2)について各県における規定が決められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

- 8 参加制限**
- (1) 学校対抗は各県2チーム、チーム編成は監督1名、選手4名とする。
 - (2) 個人対抗フルーレ・エペ・サーブルは各県4名とする。
 - (3) 個人対抗は、一人の選手がフルーレとエペもしくはサーブルの2種目に参加することができる。

- 9 参加申込**
- ※ 個人情報の取扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。（詳細は四国高体連事務局のホームページを参照）
- (1) 参加校は、所定の申込書を2部作成し、1部は下記(2)へ直接、もう1部は各県専門委員長へ送付する。各県専門委員長は取りまとめて、所属高体連事務局へ送付する。また、下記(3)に申込書のデータファイルをメールに添付して送信する。
 - (2) 申込先 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼1583-1
香川県立高松北高等学校 前田 雄亮 宛
TEL：087-845-2155 FAX：087-845-2157
 - (3) ma5613@kagawa-edu.jp(高松北高校・前田のメールアドレス)
 - (4) 申込期日 令和7年6月6日（金）必着
 - (5) 参加申込後の棄権

学校対抗の申込後の参加取り消しは、直ちに開催県専門部に報告し、理由書を校長より所属高体連会長宛に提出すること。尚、学校対抗・個人対抗とも納入した参加料の払い戻しはしない。

- 10 参加料**
- | | |
|----------|-----------------------|
| 学校対抗1チーム | 15,000円 |
| 個人対抗1人 | 1,600円（2種目出場者も1,600円） |

※監督会議の受付で納入すること。

11 表 彰

- (1) 3位までの入賞チーム並びに個人に表彰状を授与する。
- (2) 優勝チームに優勝杯、メダルを授与する。
- (3) 優勝した個人にメダルを授与する。

12 宿 泊

- (1) 選手、監督及び大会役員の宿舎は、開催県の競技種目専門部が準備し配宿する。
- (2) 宿泊料は、原則として1泊2食 9,800円(税・サービス料込)・1泊朝食 8,300円(税・サービス料込)とする。但し開催県及び市町の特別な事情があり、上記金額での宿泊が困難な場合は、1泊2食10,900円(税・サービス料込)・1泊朝食9,400円(税・サービス料込)までの増額を認める場合がある。また、弁当を申し込んだ場合は、弁当料金800円(税込)を別途支払う。
- (3) 宿泊申込 所定の宿泊申込書に入力して作成し、参加申込と同時に申し込むこと。
- (4) 申 込 先 参加申込(2)に郵送し、データファイルを以下のメールアドレスに添付して送信すること。

kenichi_tomioka@nta.co.jp

(担当者：日本旅行高松支店 富岡)

- (5) 申込期日 令和7年6月6日(金)
- (6) 申込変更 申込後、日程・人員などの変更をする場合は、必ず業者及び宿舎へ直接連絡すること。

13 諸 会 議

監督会議 令和7年6月14日(土) 11:00 場所：高松市牟礼総合体育館

14 連絡事項

- (1) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
- (2) 試合中の用具の破損は選手の責任とする。折れ剣等は必ず持ち帰ること。
- (3) 競技の服装
 - ア 半袖付き胸当てを着用すること。
 - イ 女子選手は、アの胸当ての他に、上着の下に金属または固い材料で出来ている胸当てを両胸につけること。
 - ウ 上着の下部は選手のズボン10cmは覆うこと。
 - エ グローブは前腕の半ばまで覆うものを使用すること。
 - オ 脛のでない厚手の白いストッキングを着用すること。
 - カ 選手は頭髪に注意し、試合に支障のないようにすること。特に、頭髪がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。